

2023年3月9日 全8頁

新型コロナ拡大の影響を探る 消費データブック（2023/3/9号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

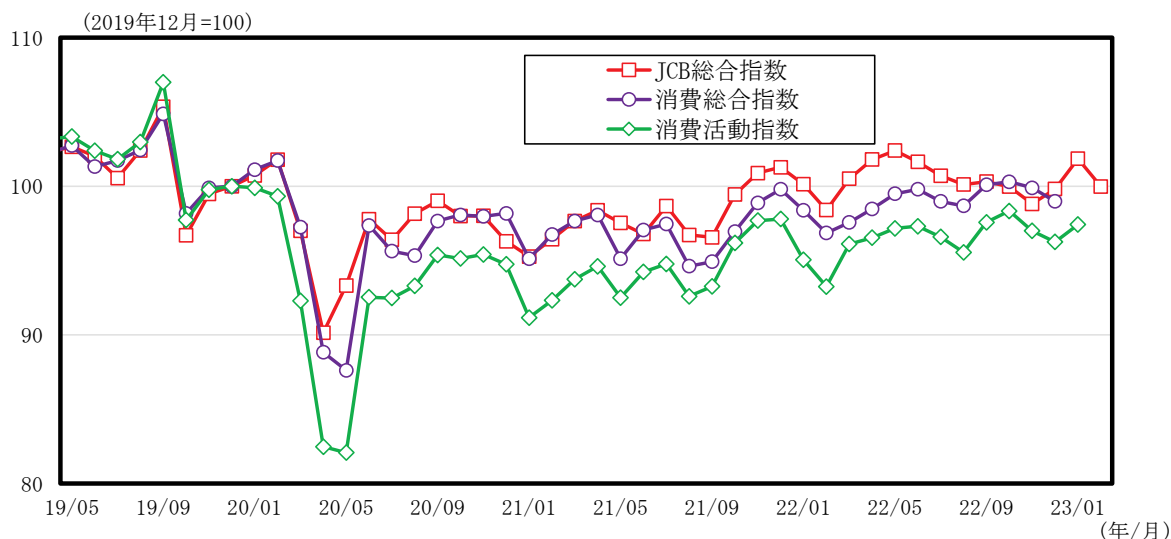
[要約]

- 2023年1月の消費は緩やかな増加基調を維持した。財消費のうち、新車販売台数は前月から大幅に増加した（大和総研による季節調整値）。他方、百貨店大手3社の売上高伸び率や大手アパレル3社の既存店売上高伸び率は前月から低下した。サービス消費のうち、国際線の旅客輸送量は2019年同期比で前月からマイナス幅が縮小し、外食需要は伸びが加速した。
- 2023年2月の消費は前月から概ね横ばいだったとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の売上高伸び率や大手アパレル3社の既存店売上高伸び率は前月から上昇した。新車販売台数は前月からほぼ横ばいだった（大和総研による季節調整値）。サービス関連のうち、新幹線輸送量は2019年同期比で前月からマイナス幅が縮小した。移動人口の動向を見ると、月下旬にかけて振れを伴いながらも緩やかに増加し、感染拡大前の2019年同月の水準を1割程度下回る水準まで回復した。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 23 年 2 月前半の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）をもとに 2 月の消費の伸び率を推計すると、前月比▲1.8%となった。財は前月から上昇した一方、サービスは前月から低下した。

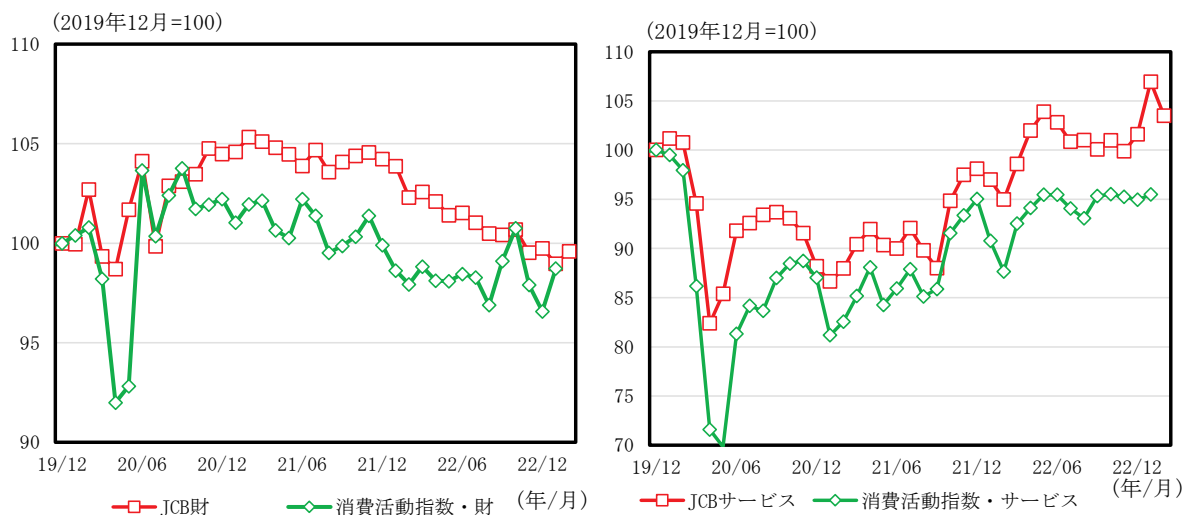
図表 1：消費総合指数・消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI(2020年基準)で実質化。

(出所) 日本銀行、内閣府統計、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI(2020年基準)で実質化。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

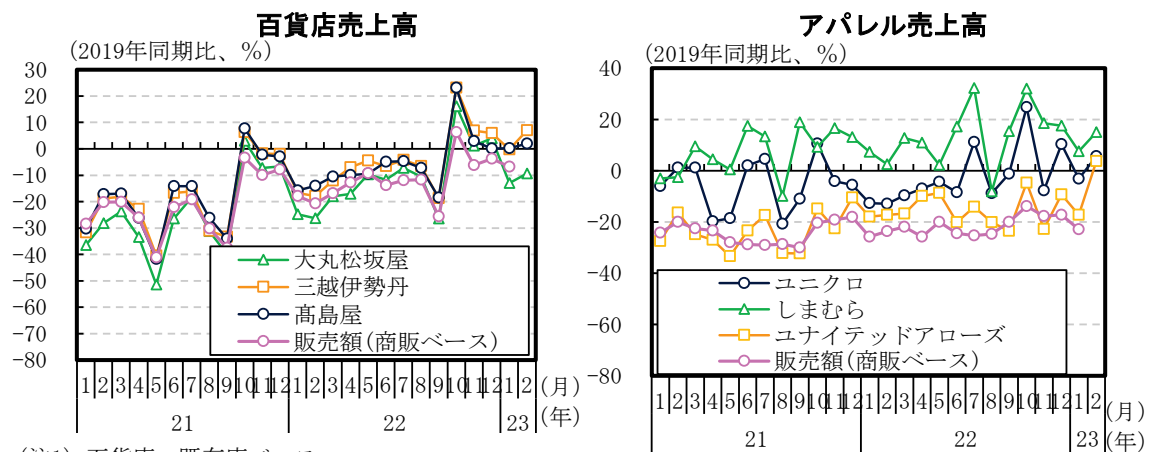
(出所) 日本銀行、内閣府統計、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

<小売関連>

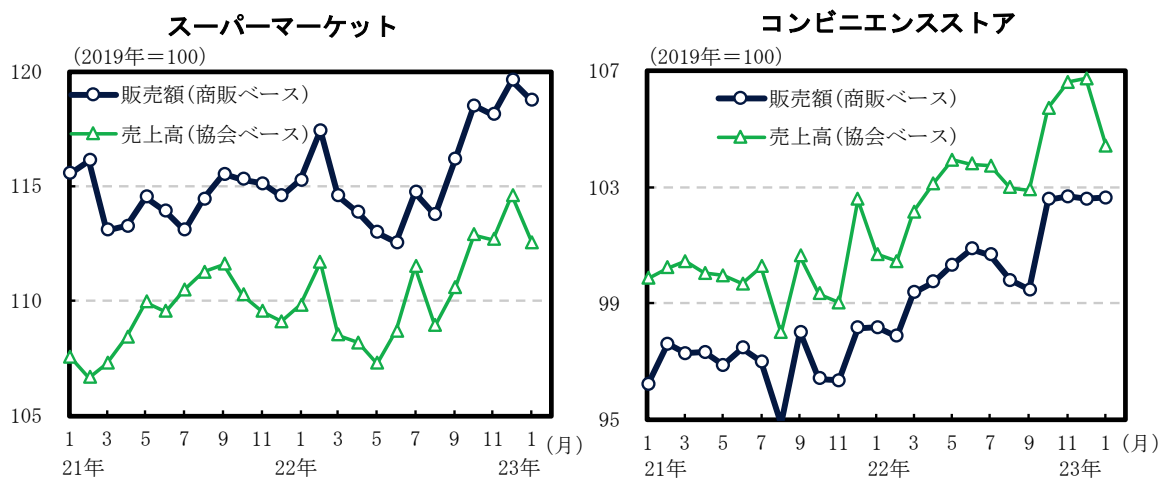
- ◆【百貨店】 大手 3 社の 23 年 1 月の既存店売上高は、新型コロナウイルス感染拡大前である 2019 年同期比で▲1 割前後。2 月は高島屋と三越伊勢丹は同プラス圏に浮上。新型コロナウイルス感染「第 8 波」の落ち着きなどが要因。
- ◆【アパレル】 23 年 1 月のアパレル各社の既存店売上高は、2019 年同期比で 3 社とも伸び率が前月から低下、しまむら以外はマイナス圏。2 月は 3 社そろってプラス圏となり、同 0~2 割増。月の平均気温が平年よりも高い日が多く、春物商品が総じて好調。

図表 3：百貨店・アパレルの売上高



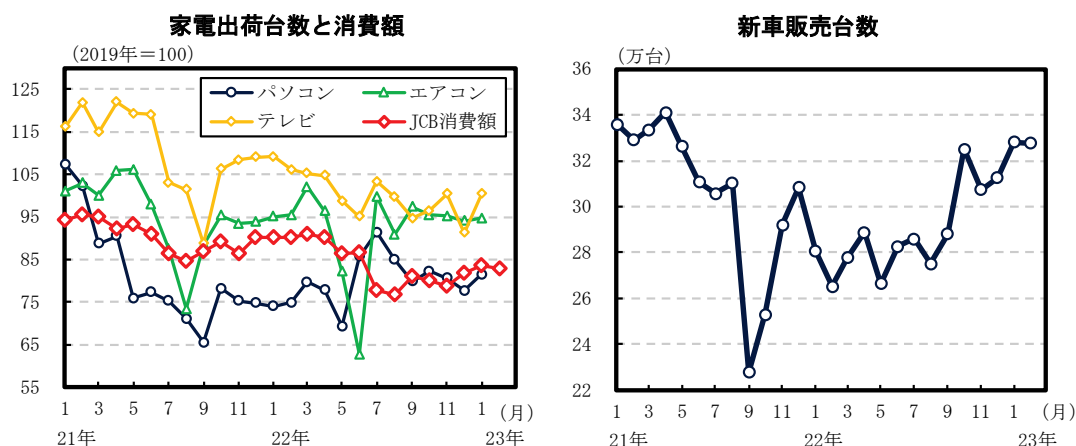
- ◆【スーパーマーケット】 23 年 1 月の売上高は前月比▲1.9%（大和総研による季節調整値）。惣菜や日配食品などが全体を押し下げた。
- ◆【コンビニエンスストア】 23 年 1 月の売上高は前月比▲2.2%（大和総研による季節調整値）。

図表 4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】 23年1月出荷台数はテレビが前月比+10%、パソコンが同+4.9%、エアコンが同+0.8%（大和総研による季節調整値）。2月のJCB消費額は同▲0.8%。
- ◆【自動車】 23年1月の新車販売台数は前月比+5.0%（大和総研による季節調整値）。2月は同▲0.2%と前月からほぼ横ばい。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



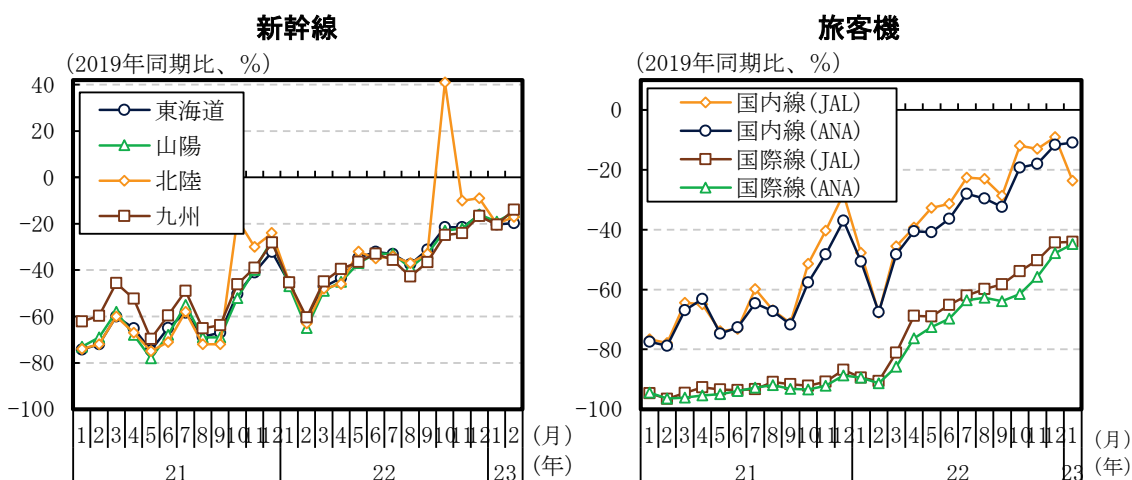
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年2月分は月前半のデータをもとに伸び率を推計。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】 23年2月の輸送量は、感染拡大前である2019年同期比で前月からマイナス幅が縮小し、約1~2割減に。
- ◆【旅客機】 23年1月の国内線輸送量は感染拡大前である2019年同期比約1~2割減、国際線輸送量は前月からマイナス幅が縮小し同4割減程度。航空各社は渡航需要の高まりを受けて、国際線の旅客便の供給量の拡大を発表している。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

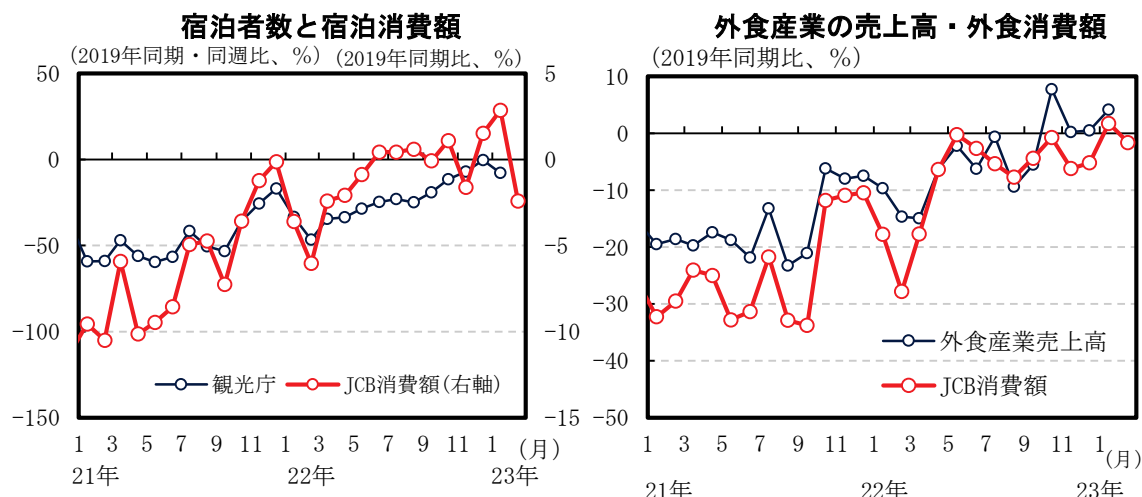


(注) 23年2月の東海は15日、九州は20日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 23年1月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は前月からマイナス幅が拡大し、感染拡大前である2019年同期比▲8%。2月のJCB宿泊消費額は同▲2.4%。
- ◆【外食】 23年1月の外食産業の売上高は感染拡大前である2019年同期比+4.1%と、前月からプラス幅が拡大。2月のJCB外食消費額は同▲2%。

図表7：国内宿泊者数／外食産業の売上高

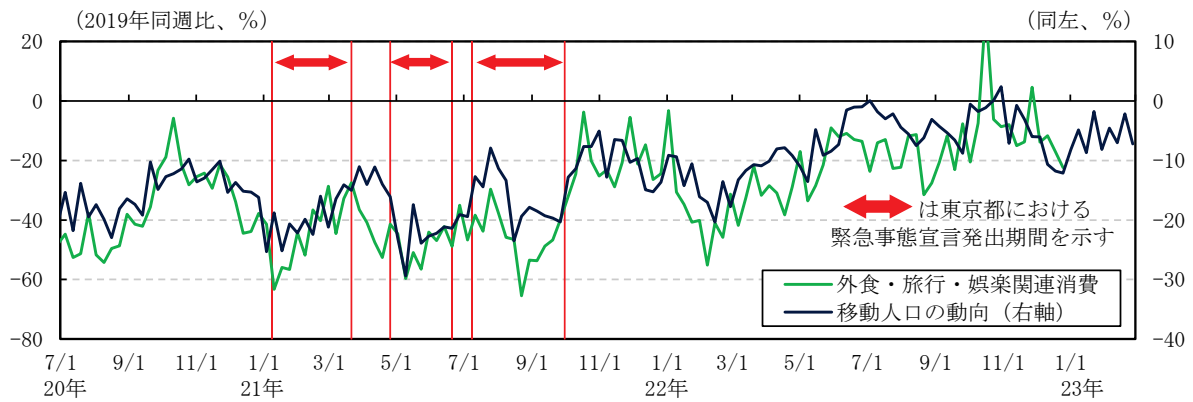


(注) 23年2月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を推計。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：人出・高速道路交通量>

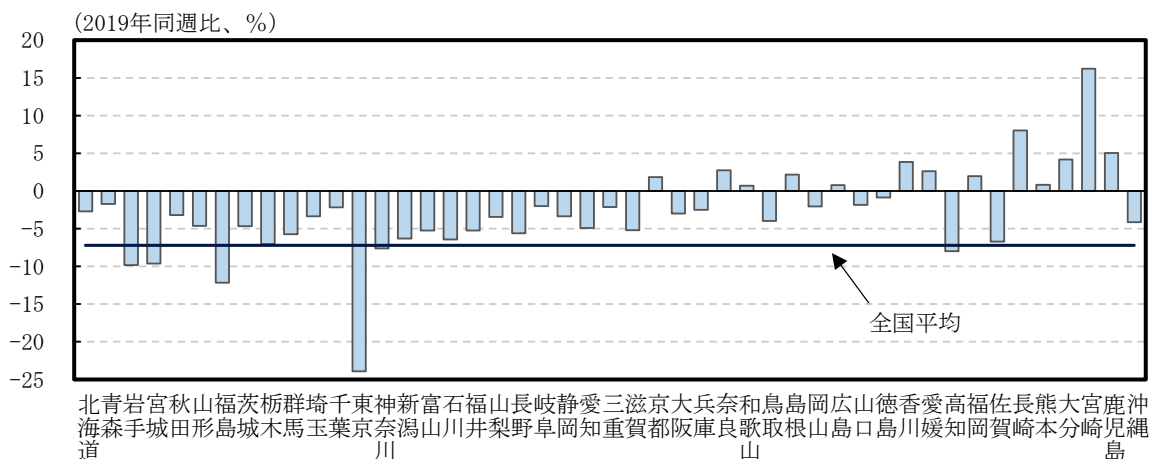
図表 8-1：移動人口の動向（直近値 2/26）と外食・旅行・娯楽関連消費



(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。
 外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

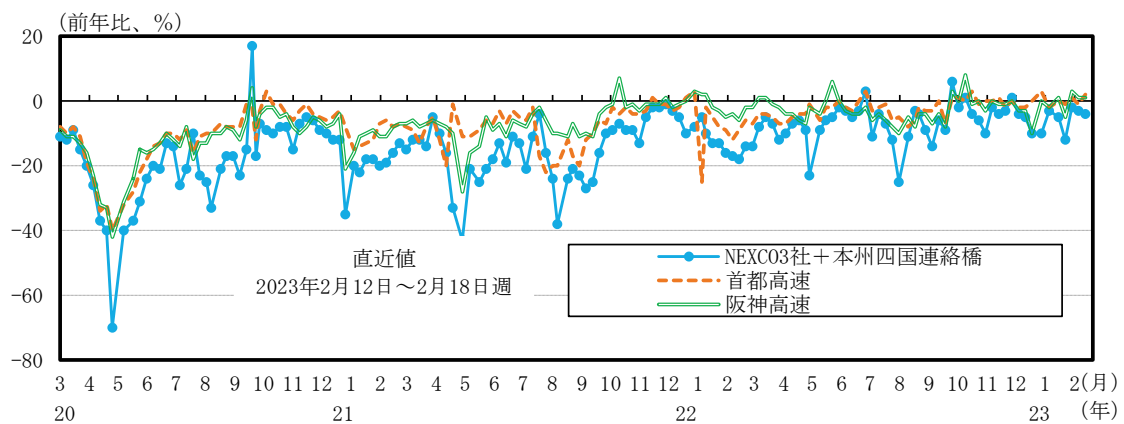
(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

図表 8-2：移動人口の動向（2/20～2/26 週、都道府県別）



(出所) V-RESASより大和総研作成

図表 9：高速道路交通量

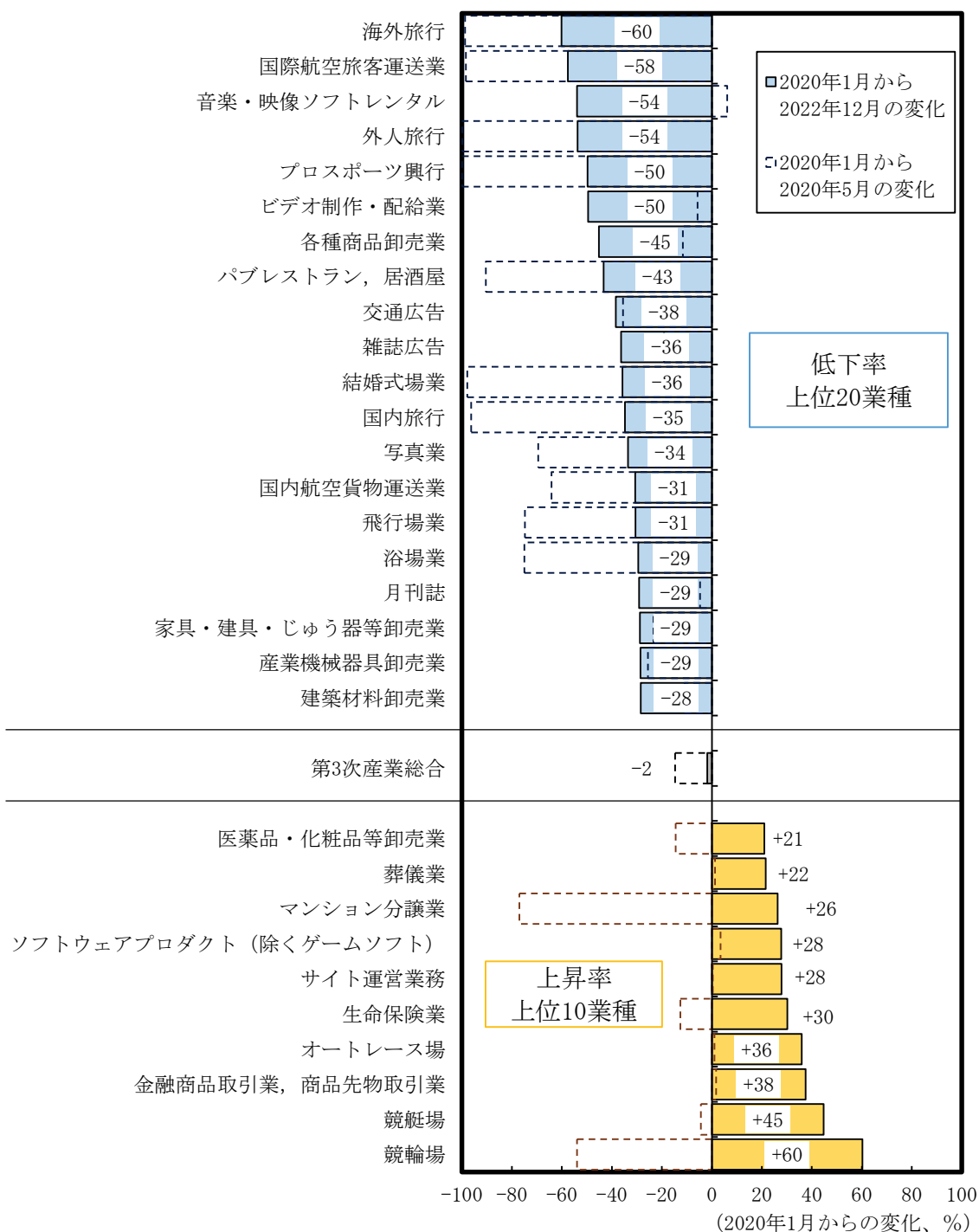


(注) 週次データ。高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。

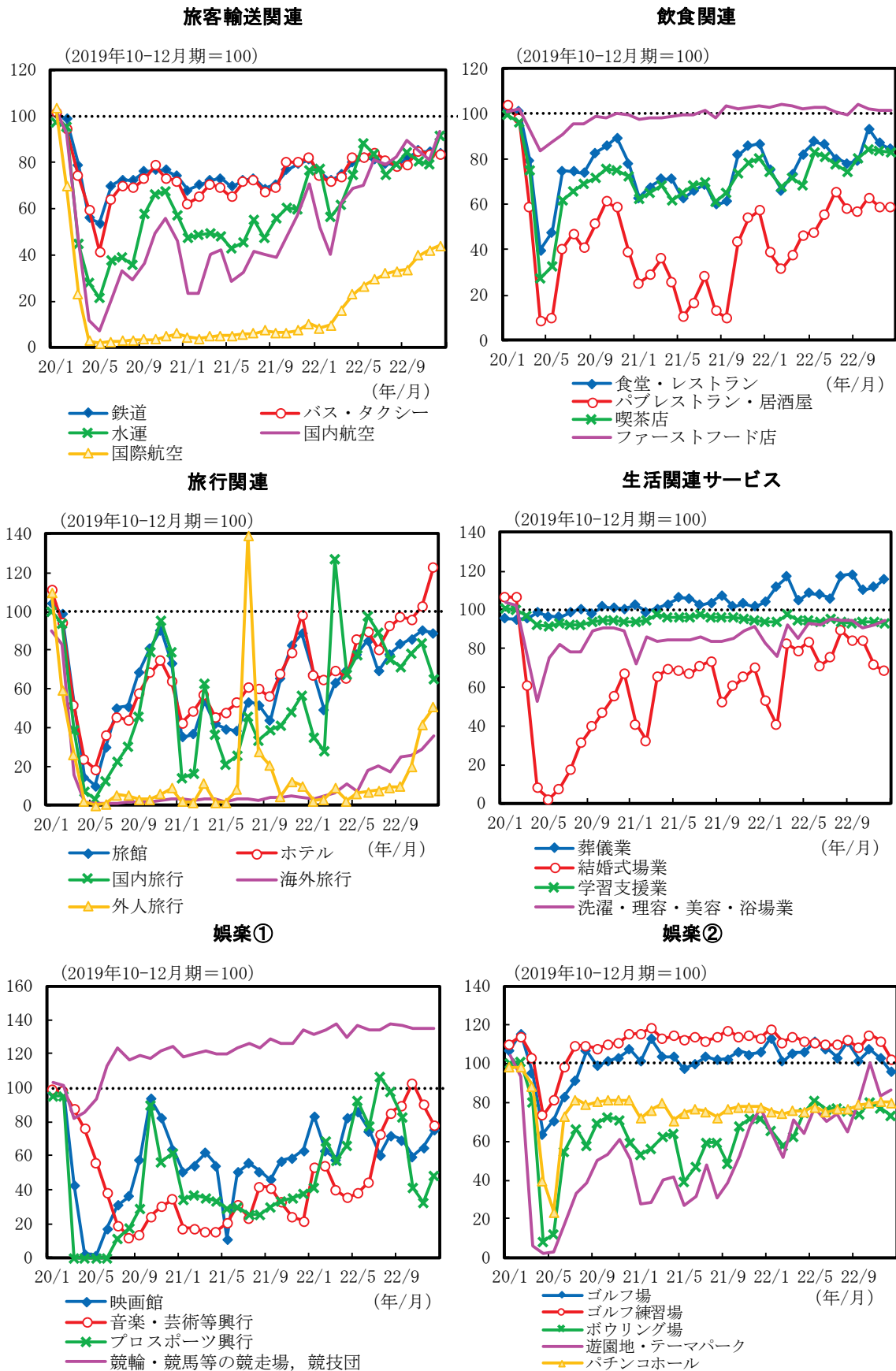
(出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

図表 10-1：第3次産業活動指数（2022年12月）



図表 10-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成